(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2004-192081
(P2004-192081A)
(43)公開日 平成16年7月8日(2004.7.8)

(51)Int.Cl.⁷	F I	テーマコード (参考)
G06F 17/60	G06F 17/60 114	5B064
G06K 9/00	G06F 17/60 334	
	G06F 17/60 506	
	G06F 17/60 ZEC	
	G06K 9/00 S	

審査請求 未請求 請求項の数 8 ＯＬ (全 13 頁)

(21)出願番号 特願2002-356169(P2002-356169)
(22)出願日 平成14年12月9日(2002.12.9)

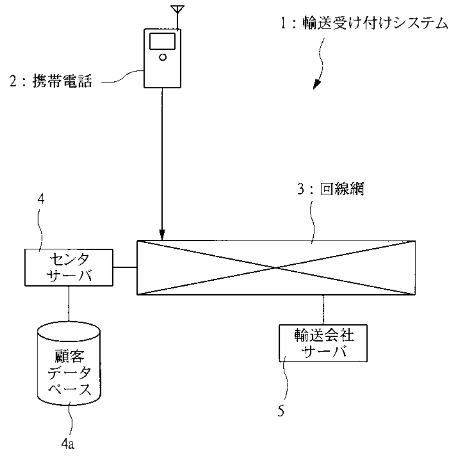
(71)出願人 000153454
株式会社日立インフォメーションテクノロジー
神奈川県足柄上郡中井町境４５６番地
(74)代理人 100080001
弁理士 筒井 大和
(72)発明者 宮岡 信夫
神奈川県足柄上郡中井町境４５６番地 株式会社日立インフォメーションテクノロジー内
(72)発明者 笹ヶ瀬 正二
神奈川県足柄上郡中井町境４５６番地 株式会社日立インフォメーションテクノロジー内

最終頁に続く

(54)【発明の名称】輸送受け付けシステム

(57)【要約】
【課題】物品の輸送依頼から受け付けまでをオンライン化し、輸送効率を大幅に向上する。
【解決手段】必要事項が記入された輸送依頼票の画像を携帯電話２に設けられたカメラレンズによって取り込み、回線網３を介して輸送会社サーバ５にアクセスする。その際センタサーバ４は、送信データに含まれた電話番号に基づいて、顧客データベース４ａの顧客情報から該電話番号に対応する住所、ならびに氏名を検索し、それらの情報を送信データに付加して輸送会社サーバ５に送信する。輸送会社サーバ５が送信データを受信すると、その送信データから画像データのイメージを解析し、輸送依頼票に含まれる送り元、送り先の文字コードの住所から輸送料金を算出する。その後、担当者への物品の引き取りを指示する引き取り依頼伝票をプリンタから印刷発行する。
【選択図】　図１

図 1



【特許請求の範囲】
【請求項１】
通信回線に接続され、任意の画像を取り込む画像処理部を有した携帯端末情報通信機器と、
前記通信回線を介して受信した画像データをイメージ解析し、文字コードを認識する輸送サーバとを備え、
前記携帯端末情報通信機器は、必要事項が記載された輸送依頼票の画像を取り込み、前記通信回線を介して前記取り込んだ輸送依頼票の画像データを含む送信データを前記輸送サーバに送信し、
前記輸送サーバは、前記携帯端末情報通信機器から送信された送信データから輸送依頼票の画像をイメージ解析し、前記輸送依頼票に含まれる送り元、および送り先の住所データ、氏名の文字コードをそれぞれ認識し、前記認識した送り元の住所データ、氏名の文字コードを出力することを特徴とする輸送受け付けシステム。
【請求項２】
通信回線に接続され、任意の画像を取り込む画像処理部を有した携帯端末情報通信機器と、
前記通信回線を使用する契約者の顧客情報からなる顧客データベースを有し、前記通信回線を管理する通信サーバと、
前記通信回線を介して受信した画像データをイメージ解析し、文字コードを認識する輸送サーバとを備え、
前記携帯端末情報通信機器は、必要事項が記載された輸送依頼票の画像を取り込み、前記通信回線を介して前記取り込んだ輸送依頼票の画像データを含む送信データを前記輸送サーバに送信し、
前記通信サーバは、前記送信データに含まれる前記携帯端末情報通信機器の固有データに基づいて、前記顧客データベースを検索し、前記送信データに住所、および氏名を付加して前記輸送サーバに送信し、
前記輸送サーバは、前記携帯端末情報通信機器から送信された輸送依頼票の画像をイメージ解析し、前記輸送依頼票に含まれる送り元、および送り先の住所データ、氏名の文字コードをそれぞれ認識し、前記通信サーバから送信された送信データに含まれる住所、および氏名を出力することを特徴とする輸送受け付けシステム。
【請求項３】
通信回線に接続され、任意の画像を取り込む画像処理部を有した携帯端末情報通信機器と、
契約者の顧客情報からなる顧客データベースを有し、前記通信回線を介して受信した画像データをイメージ解析し、文字コードを認識する輸送サーバとを備え、
前記携帯端末情報通信機器は、必要事項が記載された輸送依頼票の画像を取り込み、前記通信回線を介して前記取り込んだ輸送依頼票の画像データを含む送信データを前記輸送サーバに送信し、
前記輸送サーバは、前記携帯端末情報通信機器から送信された輸送依頼票の画像をイメージ解析し、前記輸送依頼票に含まれる送り元、および送り先の住所データ、氏名の文字コードをそれぞれ認識し、前記送信データに含まれる前記携帯端末情報通信機器の固有データに基づいて、前記顧客データベースから顧客の住所、および氏名を検索し、前記検索した顧客の住所、および氏名を出力することを特徴とする輸送受け付けシステム。
【請求項４】
請求項１～３のいずれか１項に記載の輸送受け付けシステムにおいて、前記輸送サーバが出力した住所、氏名を引き取り依頼伝票にプリントするプリンタを備えたことを特徴とする輸送受け付けシステム。
【請求項５】
請求項１～３のいずれか１項に記載の輸送受け付けシステムにおいて、前記輸送サーバに物品の輸送料金を算出する料金データベースを有し、前記認識した送り元、および送り先

の住所データに基づいて前記料金データベースを検索して、前記物品の輸送料金を算出し、前記輸送サーバが出力した住所、氏名とともに、前記算出した輸送料金を引き取り依頼伝票にプリントするプリンタを備えたことを特徴とする輸送受け付けシステム。

【請求項６】
請求項１～５のいずれか１項に記載の輸送受け付けシステムにおいて、前記携帯端末情報通信機器は、取り込んだ画像が前記輸送依頼票であるか否かを判断し、前記輸送依頼票であると判断した際には、前記輸送サーバに自動的に前記送信データを送信することを特徴とする輸送受け付けシステム。

【請求項７】
請求項１～６のいずれか１項に記載の輸送受け付けシステムにおいて、前記携帯端末情報通信機器の固有データが、電話番号であることを特徴とする輸送受け付けシステム。

【請求項８】
請求項１～７のいずれか１項に記載の輸送受け付けシステムにおいて、前記輸送サーバが輸送料金を算出する際に用いる住所データが、郵便番号であることを特徴とする輸送受け付けシステム。

【発明の詳細な説明】

【０００１】
【発明の属する技術分野】
本発明は、物品の輸送技術に関し、特に、宅配便などにおける物品の輸送受け付けの効率化に適用して有効な技術に関するものである。

【０００２】
【従来の技術】
一般に、宅配便などを利用して荷物を送る場合、荷主が輸送各社の所定の伝票に輸送先、および輸送元を記入し、集荷所などに荷物を持っていき、そこで料金精算を行っている。

【０００３】
また、お歳暮やお中元などのように同じ住所に繰り返し荷物を届ける顧客に対しては、たとえば、前年の輸送実績に基づいて、輸送依頼票を予め印刷しておいて利用することにより、該輸送依頼票への記入などの手間を簡便にする方法が広く知られている。

【０００４】
さらに、おみやげなどを送る方法としては、ファックスにより輸送依頼票を配送センタに送り、そのファックスされた輸送依頼票のイメージデータを各物品毎の輸送依頼票として転写印刷することにより効率化を図っているケースがある（たとえば、特許文献１参照）。

【０００５】
【特許文献１】
特開２００１－２６６０５５号公報

【０００６】
【発明が解決しようとする課題】
ところが、上記のような宅配便の物品の輸送受け付け技術では、次のような問題点があることが本発明者により見い出された。

【０００７】
すなわち、荷主などが荷物を集荷所に届けたり、輸送依頼票の記入などの煩わしい作業を行わなければならず、物品の輸送依頼申し込みまでに時間がかかってしまうという問題がある。

【０００８】
また、集荷所においても、荷主からの物品輸送依頼がある毎に個々に対応しなければならず、荷物受け付け事務の効率が低下してしまい、依頼された荷物の集荷効率が悪くなってしまう恐れがある。

【０００９】
さらに、荷主が集荷所などに直接電話をかけ、輸送会社に集荷を依頼する場合もあるが、

集配所から集荷を行うドライバへの伝達が遅れてしまったり、集荷先でドライバ自身が輸送料金を算出したりしなければならず、この場合においても集荷効率が悪くなってしまう恐れがある。
【００１０】
本発明の目的は、物品の輸送依頼から受け付けまでをオンライン化し、輸送効率を大幅に向上することのできる輸送受け付けシステムを提供することにある。
【００１１】
【課題を解決するための手段】
１．本発明の輸送受け付けシステムは、通信回線に接続され、任意の画像を取り込む画像処理部を有した携帯端末情報通信機器と、通信回線を介して受信した画像データをイメージ解析し、文字コードを認識する輸送サーバとを備え、携帯端末情報通信機器は、必要事項が記載された輸送依頼票の画像を取り込み、通信回線を介して取り込んだ輸送依頼票の画像データを含む送信データを輸送サーバに送信し、該輸送サーバは、携帯端末情報通信機器から送信された送信データから輸送依頼票の画像をイメージ解析し、輸送依頼票に含まれる送り元、および送り先の住所データ、氏名の文字コードをそれぞれ認識し、認識した送り元の住所データ、氏名の文字コードを出力することを特徴とする。
【００１２】
また、本願のその他の発明の概要を簡単に示す。
２．本発明の輸送受け付けシステムは、通信回線に接続され、任意の画像を取り込む画像処理部を有した携帯端末情報通信機器と、通信回線を使用する契約者の顧客情報からなる顧客データベースを有し、通信回線を管理する通信サーバと、該通信回線を介して受信した画像データをイメージ解析し、文字コードを認識する輸送サーバとを備え、携帯端末情報通信機器は、必要事項が記載された輸送依頼票の画像を取り込み、通信回線を介して取り込んだ輸送依頼票の画像データを含む送信データを輸送サーバに送信し、通信サーバは、送信データに含まれる携帯端末情報通信機器の固有データに基づいて、顧客データベースを検索し、送信データに住所、および氏名を付加して前記輸送サーバに送信し、輸送サーバは、携帯端末情報通信機器から送信された輸送依頼票の画像をイメージ解析し、輸送依頼票に含まれる送り元、および送り先の住所データ、氏名の文字コードをそれぞれ認識し、通信サーバから送信された送信データに含まれる住所、および氏名を出力することを特徴とする。
３．本発明の輸送受け付けシステムは、通信回線に接続され、任意の画像を取り込む画像処理部を有した携帯端末情報通信機器と、契約者の顧客情報からなる顧客データベースを有し、通信回線を介して受信した画像データをイメージ解析し、文字コードを認識する輸送サーバとを備え、携帯端末情報通信機器は、必要事項が記載された輸送依頼票の画像を取り込み、通信回線を介して取り込んだ輸送依頼票の画像データを含む送信データを前記輸送サーバに送信し、輸送サーバは、携帯端末情報通信機器から送信された輸送依頼票の画像をイメージ解析し、輸送依頼票に含まれる送り元、および送り先の住所データ、氏名の文字コードをそれぞれ認識し、送信データに含まれる携帯端末情報通信機器の固有データに基づいて、顧客データベースから顧客の住所、および氏名を検索し、検索した顧客の住所、および氏名を出力することを特徴とする。
【００１３】
【発明の実施の形態】
以下、本発明の実施の形態を図面に基づいて詳細に説明する。
【００１４】
図１は、本発明の一実施の形態による輸送受け付けシステムの構成図、図２は、図１の輸送受け付けシステムに設けられた携帯電話の一例を示す説明図、図３は、図１の輸送受け付けシステムに設けられた輸送会社サーバのブロック図、図４は、図１の輸送受け付けシステムに用いられる輸送依頼票の一例を示す説明図、図５は、図２の携帯電話から送信される送信データの説明図、図６は、図１の輸送受け付けシステムに設けられた顧客データベースにおける顧客情報の一例を示したフォーマットの説明図、図７は、図１の輸送受け

付けシステムに設けられたセンタサーバから送信される送信データの説明図、図８は、図１の輸送受け付けシステムによる集荷依頼の処理工程を説明するフローチャート、図９は、図３の輸送会社サーバのＨＤＤに格納された輸送料金算出用データベースの一例を示す説明図、図１０は、図３の輸送会社サーバから発行された引き取り依頼伝票の一例を示す説明図、図１１は、図１の輸送会社サーバによる顧客情報を付加した送信データの受信から物品の引き取り依頼指示伝票の発行までの処理を示すフローチャートである。

【００１５】

本実施の形態において、輸送受け付けシステム１は、荷主による荷物の輸送依頼申し込みをオンラン化し、輸送依頼から輸送票の発行までを効率化するシステムである。

【００１６】

輸送受け付けシステム１は、図１に示すように、携帯電話（携帯端末情報通信機器）２、回線網（通信回線）３、センタサーバ（通信サーバ）４、ならびに輸送会社サーバ（輸送サーバ）５から構成されている。携帯電話２は、たとえば、携帯可能でカメラ付きであり、電話機能の他に電子メール機能などの通信機能を有したものである。携帯電話２以外に、たとえば、通信機能、およびカメラ機能を備えた携帯端末情報通信機器（ＰＤＡ：Ｐｅｒｓｏｎａｌ　Ｄｉｇｉｔａｌ　Ａｓｓｉｓｔａｎｔｓ）などであってもよい。

【００１７】

回線網３は、携帯電話通信網を含む通信回線である。センタサーバ４は、回線網３を有する通信会社が保有するサーバである。このセンタサーバ４には、顧客データベース４ａが接続されている。

【００１８】

顧客データベース４ａには、通信会社と契約したユーザの顧客情報などが格納されている。顧客情報は、たとえば、契約したユーザの電話番号、住所、および氏名などである。

【００１９】

輸送会社サーバ５は、輸送会社が保有するサーバである。携帯電話２、センタサーバ４、および輸送会社サーバ５は、回線網３を介してそれぞれ接続される。

【００２０】

また、携帯電話２の構成について図２を用いて説明する。

【００２１】

携帯電話２は、図示するように、該携帯電話の最上部にアンテナ７が設けられている。アンテナ７の下方には、表示部８が設けられており、該表示部８の下方にはレシーバ部９が設けられている。

【００２２】

レシーバ部９の下方には、カメラレンズ１０が設けられており、該カメラレンズ１０の下方にはテンキー入力などのキーボード部１１が設けられている。そして、キーボード部１１の下方にはマイク部１２が設けられている。

【００２３】

アンテナ７は、通信時に通信信号を送受信する。表示部８は、キーボード部１１などからの入力情報、受信情報やカメラレンズ１０から取り込んだ画像などの様々な情報を表示する。

【００２４】

レシーバ部９は、通話時に相手方の音声を出力する。カメラレンズ１０は、任意の被写体の画像を取り込む。キーボード部１１は、電話番号や文字などを入力する。マイク部１２は、通話時などにおける音声を取り込む。

【００２５】

また、携帯電話２は、キーボード部１１の操作により、カメラレンズ１０から取り込んだ画像、ならびにマイク部１２から入力された音声などを電子メールに添付して送信することができる。

【００２６】

図３は、輸送会社サーバ５のブロック図である。

【００２７】
輸送会社サーバ５は、図のように、ＣＰＵ（Ｃｅｎｔｒａｌ　Ｐｒｏｃｅｓｓｉｎｇ　Ｕｎｉｔ）１３、ＲＡＭ（Ｒａｎｄａｍ　Ａｃｃｅｓｓ　Ｍｅｍｏｒｙ）１４、通信手段１５、およびＨＤＤ（Ｈａｒｄ　Ｄｉｓｃ　Ｄｒｉｖｅ）１６などから構成されている。
【００２８】
ＣＰＵ１３は、ＲＡＭ１４に格納されたプログラムやデータなどを読み出し、所定の処理を行い、輸送会社サーバ５におけるすべて制御を司る。ＲＡＭ１４は、前述したプログラムやＣＰＵ１３が処理を行うことによって生じたデータなどを格納する。
【００２９】
通信手段１５は、通信網３を介して、たとえば、携帯電話２などのデータ通信を行う。ＨＤＤ１６は、様々なデータを保存する記憶装置であり、たとえば、輸送会社における輸送料金算出用データベース（料金データベース）などが格納されている。輸送料金算出用データベースは、輸送会社における輸送料金のデータベースである。
【００３０】
この輸送会社サーバ５にはプリンタ１７が接続されている。プリンタ１７は、輸送会社サーバ５の指示に基づいて、物品の引き取り依頼伝票などの帳票などを印刷する。
【００３１】
次に、本実施の形態における輸送受け付けシステム１の作用について説明する。
【００３２】
始めに、荷主による集荷依頼の流れについて、図８のフローチャートを用いて説明する。
【００３３】
まず、荷主は、依頼する輸送会社の輸送依頼票１０１に必要事項を記入する。この輸送依頼票１０１は、図４に示すように、送り先１０２、送り元１０３、および品名１０４の欄が設けられている。
【００３４】
送り先１０２には、荷受け人の郵便番号、電話番号、住所、氏名を記入し、送り元１０３には、荷主の郵便番号、電話番号、住所、氏名を記入する。品名１０４には、輸送する荷物の品名を記入する。
【００３５】
荷主は、必要事項を記入した輸送依頼票１０１を携帯電話２のカメラレンズ１０によって撮影する（ステップＳ１０１）。携帯電話２は、撮影された画像が、輸送依頼票１０１であるか否かを判断する（ステップＳ１０２）。
【００３６】
携帯電話２には、輸送依頼票１０１の画像データが取り込まれると自動的に輸送会社サーバ５にアクセスする電話番号を発信するプログラムが格納されている。
【００３７】
このプログラムは、たとえば、回線網３を介してインターネットなどから任意にダウンロードするようにしてもよいし、携帯電話２の購入時から予め格納されていてもよい。
【００３８】
よって、ステップＳ１０２の処理において撮影された画像が輸送依頼票１０１の場合には、携帯電話２は、予め設定された輸送会社サーバ５にアクセスする電話番号を自動的に発信し（ステップＳ１０３）、送信データを送信する（ステップＳ１０４）。また、撮影された画像が輸送依頼票１０１でない場合には終了となる。
【００３９】
ここで、ステップＳ１０２の処理における輸送依頼票１０１であるか否かの判断は、たとえば、撮影された画像を処理し、該輸送依頼票に印刷されたタイトルやバーコードなどの特定の図形や文字などを認識して判断する。
【００４０】
また、携帯電話２から送信された送信データのフォーマットを図５に示す。携帯電話２から送信される送信データは、ヘッダ２０１、電話番号（固有データ）２０２、および画像

データ２０３から構成されている。

【００４１】

ヘッダ２０１は、契約している通信会社、携帯電話２の機種情報などからなる送信データの制御情報であり、電話番号２０２は、送信した携帯電話２の電話番号である。画像データ２０３は、輸送依頼票１０１を携帯電話２のカメラレンズ１０によって取り込んだ画像のデータである。

【００４２】

携帯電話２から送信された送信データは、センタサーバ４を経由して輸送会社サーバ５に送信される。センタサーバ４が送信データを受信した際、該センタサーバ４は、送信データの電話番号２０２に基づいて、顧客データベース４ａの顧客情報から電話番号２０２に対応する住所、ならびに氏名を検索し、それらの情報を送信データに付加して輸送会社サーバ５に送信する。

【００４３】

図６は、顧客データベース４ａにおける顧客情報の一例を示したフォーマットの説明図である。前述したように、顧客情報は、電話番号３０１、およびそれに対応する契約したユーザの住所３０２、氏名３０３が、すべてのユーザ毎に格納されている。

【００４４】

図７は、センタサーバ４が管理情報を付加した後の送信データのフォーマットの説明図である。この場合、送信データは、ヘッダ４０１、電話番号４０２、画像データ４０３、住所４０４、ならびに氏名４０５から構成されている。

【００４５】

ヘッダ４０１、電話番号４０２、および画像データ４０３は、図５における送信データと同じであり、住所４０４、ならびに氏名４０５は、センタサーバ４が付加した情報である。

【００４６】

次に、輸送会社サーバ５によるセンタサーバ４が顧客情報を付加した送信データの受信から物品の引き取り依頼指示伝票の発行までの処理を、図１１のフローチャートを用いて説明する。

【００４７】

輸送会社サーバ５が送信データを受信すると（ステップＳ２０１）、該輸送会社サーバ５は、受信した送信データから画像データ２０３を抽出し、該画像データ２０３のイメージ解析処理を行う（ステップＳ２０２）。

【００４８】

そして、輸送会社サーバ５は、イメージ解析された輸送依頼票１０１に含まれる送り元１０２、送り先１０３の文字コードを変換し（ステップＳ２０３）、その変換した文字コードの住所から輸送料金を算出する（ステップＳ２０４）。

【００４９】

このとき、検出する送り元１０２、送り先１０３の文字は、すべての文字であってもいいし、あるいは輸送料金算出に必要な県名（住所データ）や郵便番号（住所データ）などの文字のみであってもよい。

【００５０】

図９は、輸送会社サーバ５のＨＤＤ１６に格納された輸送料金算出用データベースの一例である。図において、縦軸には配送先５０１の都道府県名、横軸には配送元５０２の都道府県名があり、それぞれに対応する配送元（都道府県名）から配送先（都道府県名）までの輸送料金５０３が設定されている。

【００５１】

また、郵便番号を用いる場合には、ＨＤＤ１６に郵便番号に対応した住所からなる住所データベースを格納し、その住所データベースから検索した住所に基づいて輸送料金算出用データベースを検索し、輸送料金算出にする。

【００５２】

輸送会社サーバ５は、送り元１０２、送り先１０３の文字からＨＤＤ１６に格納されている輸送料金算出用データベースを検索し、物品の輸送料金を算出する。

【００５３】

また、輸送料金の算出に物品の大きさのデータが必要な場合には、たとえば、輸送会社サーバ４が物品に貼り付けられた輸送依頼票１０１と物品とのサイズを比較して該物品の大きさを推定して算出したり、または輸送依頼票１０１に予め荷主が物品のサイズを記入するようにしてもよい。

【００５４】

物品の輸送料金が算出されると、輸送会社サーバ４は、集荷担当者への物品の引き取りを指示するための引き取り依頼伝票６０１を印刷するコマンドをプリンタ１７に送信し、該プリンタ１７により引き取り依頼伝票６０１を印刷発行する（ステップＳ２０５）。

【００５５】

図１０にプリンタ１７から印刷発行される引き取り依頼伝票６０１の一例を示す。引き取り依頼伝票６０１は、荷主の住所６０２、氏名６０３、および算出した輸送料金６０４などが印刷された構成からなる。

【００５６】

引き取り依頼伝票６０１に印刷される住所６０２、および氏名６０３は、受信した送信データ（図７）の住所４０４、氏名４０５を用いる。これら住所６０２、氏名６０３は、送信データの住所４０４、氏名４０５を用いずに、たとえばイメージ解析した輸送依頼票１０１の文字コードから検出したものを用いるようにしてもよい。

【００５７】

また、物品の配送においては、実際の荷主と輸送依頼票に記載される送り主とが異なる場合などがあるので、引き取り依頼伝票６０１に、予め携帯電話２の契約者の住所を記載するか、輸送依頼票１０１の文字コードから検出したものを記載するかをユーザと輸送会社との間で取り決めておくようにしてもよい。

【００５８】

そして、プリンタ１７から印刷発行された引き取り依頼伝票６０１に基づいて、集荷担当者が物品を集荷する。

【００５９】

それにより、本実施の形態によれば、必要事項を記入した輸送依頼票１０１を携帯電話２のカメラレンズ１０によって撮影するだけで、物品の輸送依頼が終了するので、荷主の労力を大幅に低減しながら、物品引き取りまでの処理を高速化することができる。

【００６０】

また、本実施の形態においては、センタサーバ４を経由する際に、該センタサーバ４が住所４０４、ならびに氏名４０５を送信データに付加していたが、これら住所４０４、および氏名４０５を送信データに付加せずに送信データとして送信するようにしてもよい。

【００６１】

この場合、輸送会社サーバ４は、顧客情報のデータベースをＨＤＤ１６に格納し、受信した送信データ（図５）の電話番号２０２に対応する住所、氏名をＨＤＤ１６の顧客情報から検索する。

【００６２】

さらに、顧客情報はＨＤＤ１６に格納せずに、他のデータベースに格納し、たとえばインターネット経由で電話番号２０２に対応する住所、氏名を検索取得するようにしてもよい。

【００６３】

本発明は前記実施の形態に限定されるものではなく、その要旨を逸脱しない範囲で種々変更可能であることはいうまでもない。

【００６４】

【発明の効果】

（１）本発明によれば、物品の輸送依頼から受け付けまでの効率を向上することができる

ので、物品の引き取りまでの時間を大幅に短縮することができる。
（２）また、本発明では、物品の輸送依頼を受け付けた際の引き取り依頼伝票の発行の効率を向上することができる。

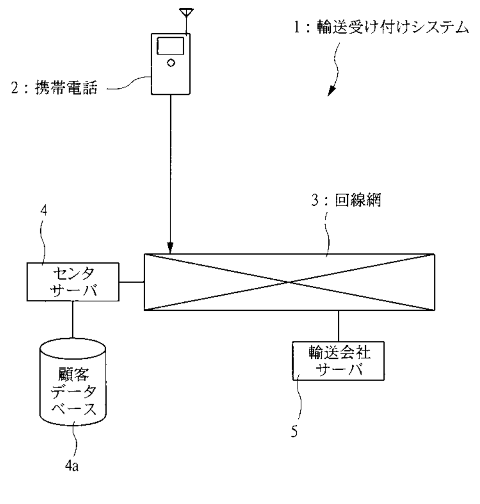
【図面の簡単な説明】
【図１】本発明の一実施の形態による輸送受け付けシステムの構成図である。
【図２】図１の輸送受け付けシステムに設けられた携帯電話の一例を示す説明図である。
【図３】図１の輸送受け付けシステムに設けられた輸送会社サーバのブロック図である。
【図４】図１の輸送受け付けシステムに用いられる輸送依頼票の一例を示す説明図である。
【図５】図２の携帯電話から送信される送信データの説明図である。
【図６】図１の輸送受け付けシステムに設けられた顧客データベースにおける顧客情報の一例を示したフォーマットの説明図である。
【図７】図１の輸送受け付けシステムに設けられたセンタサーバから送信される送信データの説明図である。
【図８】図１の輸送受け付けシステムによる集荷依頼の処理工程を説明するフローチャートである。
【図９】図３の輸送会社サーバのＨＤＤに格納された輸送料金算出用データベースの一例を示す説明図である。
【図１０】図３の輸送会社サーバから発行された引き取り依頼伝票の一例を示す説明図である。
【図１１】図１の輸送会社サーバによる顧客情報を付加した送信データの受信から物品の引き取り依頼指示伝票の発行までの処理を示すフローチャートである。

【符号の説明】
１　輸送受け付けシステム
２　携帯電話（携帯端末情報通信機器）
３　回線網（通信回線）
４　センタサーバ（通信サーバ）
４ａ　　顧客データベース
５　輸送会社サーバ（輸送サーバ）
７　アンテナ
８　表示部
９　レシーバ部
１０　カメラレンズ
１１　キーボード部
１２　マイク部
１３　ＣＰＵ
１４　ＲＡＭ
１５　通信手段
１６　ＨＤＤ
１７　プリンタ
１０１　輸送依頼票
１０２　送り先
１０３　送り元
１０４　品名
２０１　ヘッダ
２０２　電話番号（固有データ）
２０３　画像データ
３０１　電話番号
３０２　住所
３０３　氏名

４０１　ヘッダ
４０２　電話番号
４０３　画像データ
４０４　住所
４０５　氏名
５０１　配送先
５０２　配送元
５０３　輸送料金
６０１　引き取り依頼伝票
６０２　住所
６０３　氏名
６０４　輸送料金

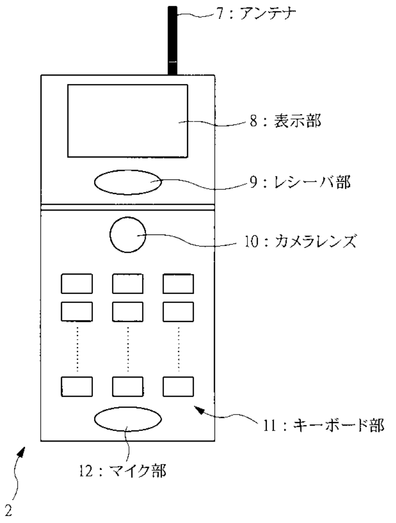
【図１】

図 1



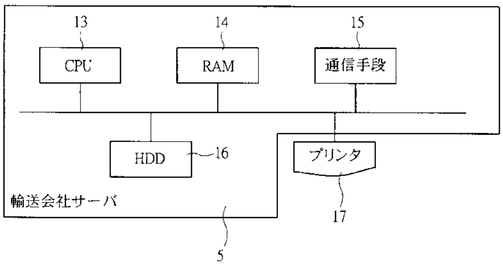
【図２】

図 2



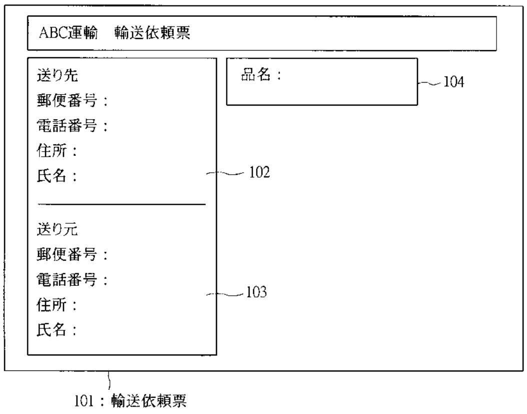
【図3】

図 3



【図4】

図 4



【図5】

図 5

ヘッダ	電話番号	画像データ
201	202	203

【図6】

図 6

電話番号	住所	氏名
123−456−789	×××県　×××市　×××町	×××××
⋮	⋮	⋮
301	302	303

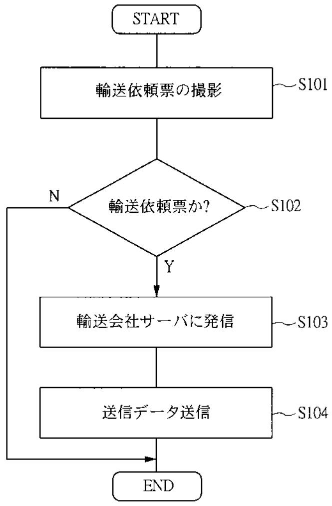
【図7】

図 7

ヘッダ	電話番号	画像データ	住所	氏名
401	402	403	404	405

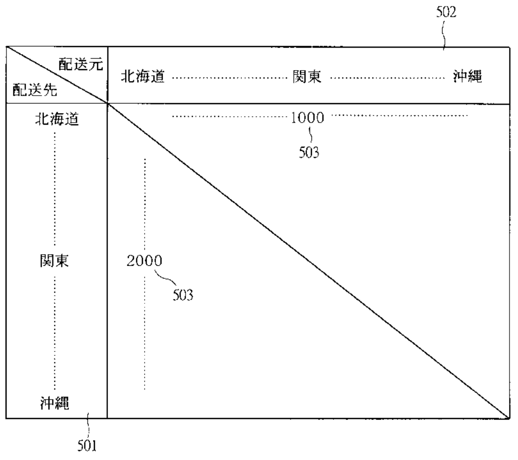
【図8】

図 8



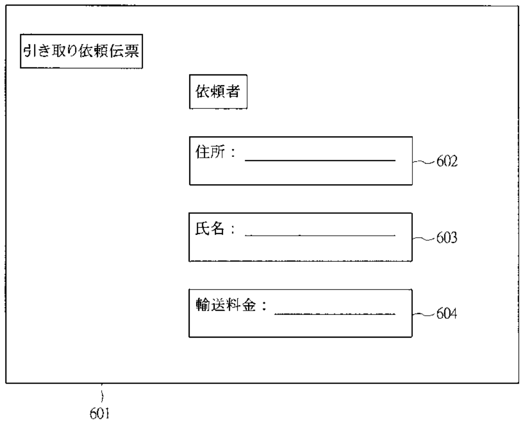
【図９】

図 9



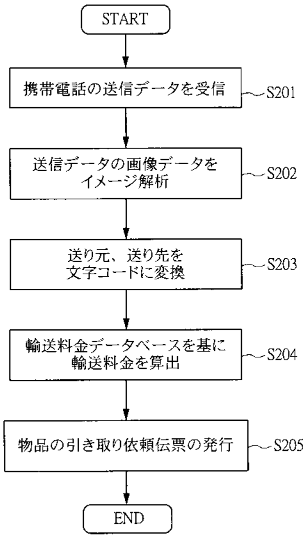
【図１０】

図 10



【図１１】

図 11



フロントページの続き

(72)発明者　富樫　詳二
神奈川県足柄上郡中井町境４５６番地　株式会社日立インフォメーションテクノロジー内
(72)発明者　杉山　太一
神奈川県足柄上郡中井町境４５６番地　株式会社日立インフォメーションテクノロジー内
Ｆターム(参考) 5B064 AA07